

当面の病床機能転換等の一覧（和歌山保健医療圏構想区域）

資料 3

No.	医療機関名	今後の役割・方向性 <small>令和4年 10月～ 令和5年 1月 「2025年に向けた対応方針アンケート」より</small>	機能転換等の内容  (一般病床・療養病床)		転換等の時期  (見込)
1	中江病院	【B】救急拠点型 (年間100件以上の入院を要する 救急患者受入)	転換	急性期に分類してきた1病棟44床について、 当該病棟の実態等を踏まえ、回復期に分類する。 (機能区分の選択変更のみ。入院料の変更は無い。)  <転換後の機能別病床数> 急性期 41床 (▲44床) 回復期 151床 (+44床)	令和5年度 病床機能報告より
2	藤民病院	【C】地域密着型 (軽症患者の救急受入、 急性期病院からの転院受入、 在宅復帰へ向けた医療など)	転換	慢性期に分類してきた1病棟40床について、 当該病棟の実態等を踏まえ、回復期分類する。 (機能区分の選択変更のみ。入院料の変更は無い。)  <転換後の機能別病床数> 回復期 40床 (+40床) 慢性期 60床 (▲40床)	令和5年度 病床機能報告より